

内閣参質七六第九号

昭和五十年十月十四日

内閣総理大臣 三木武夫

参議院議長 河野謙三殿

参議院議員野末陳平君提出マツクイムシの被害に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員野末陳平君提出マツクイムシの被害に関する質問に対する答弁書

一、について

最近における松くい虫による被害は、昭和四十八年度の高温寡^か雨等の異常気象のため急激に増加し、同年度以降九州及び瀬戸内地方を中心に年間百万立方メートルを越す被害量となつて
いる。

また、ここ数年の年度別都道府県別被害量は、別表のとおりである。

二、について

松くい虫による被害については、森林病虫害等防除法に基づく駆除命令、立入検査等の措置を講ずることにより積極的にその防除に努めているところである。

今後においても、予防事業を拡充強化して被害の未然防止に努めるとともに、被害木の早期

伐倒・駆除等により防除の徹底を図ってまいりたい。

別表

松くい虫の年度別都道府県別被害量

(一) 民有林

北海道 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島 茨城 栃木 群馬	都道府県名	
	馬	道
	四十五	— — ○ ○ — ○ — 四 ○ ○
	四十六	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ —
	四十七	○ 三 — ○ ○ — — ○ 四
	四十八	— 五 ○ — ○ ○ ○ ○ ○ —
	四十九	○ ○ 九 — — ○ ○ ○ ○ ○

年度別被害量 (単位・千立方メートル)

大 京 滋 三 愛 静 岐 長 山 福 石 富 新 神 東 千 埼

奈

阪 都 賀 重 知 岡 阜 野 梨 井 川 山 瀨 川 京 葉 玉

三 四 四 二 四 六 八 〇 十 〇 五 二 五 八 二 ^一二 一

三 五 一 四 二 三 七 一 〇 一 一 二 三 九 一 〇 一

三 七 一 三 四 三 四 十 一 一 一 四 二 ^一一 一 ^一三 〇

七 九 二 三 五 四 ^一六 〇 〇 一 一 二 三 ^二〇 一 ^五八 〇

^三〇 九 二 四 九 五 六 〇 〇 〇 一 一 一 ^一八 一 ^四一 〇

大 熊 長 佐 福 高 愛 香 德 山 広 岡 島 鳥 和 奈 兵

歌

分 本 崎 賀 岡 知 媛 川 島 口 島 山 根 取 山 良 庫

八 ^{三七} ^{三一} 六 ^{一二} 五 七 一 一 九 三 四 二 〇 ^{一〇} 〇 二 九

^{三一} ^{二九} ^{四三} ^{一四} ^{一四} 六 七 四 〇 ^{二二} 八 三 九 二 〇 一 四 二

五 三 三 二 一 一 〇 四 一 ^{三三} ^{三一} 九 九 二 〇 一 三 九 一 七

^{一〇} ^三 ^四 ^二 ^二 ^九 ^一 ^四 ^一 ^五 ^一 ^五 ^三 ^七 五 一 ^三 ^九 ^五 ^二 ^一 ^八 ^〇 四 一 ^二 ^三 ^三 ^四

八 三 二 一 一 四 九 四 五 七 二 ^五 ^三 ^三 ^二 ^一 ^一 ^三 ^二 ^七

(二) 国有林

旭 北 帯 札 函 青 秋	川 見 広 幌 館 森 田	年度別被害量(単位・千立方メートル)				
		四十五	四十六	四十七	四十八	四十九
○ 九	○		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	- ○ 八	○ ○ ○ ○

宮 鹿 沖	児	計
崎	島	繩
三三	四七	三〇一
三三	六七	四〇〇
四〇	一〇二	六一五
三九	九五	九〇一
三四	七〇	九〇二

(三) 合計

国民 所有 林	国民 所有 林	合計	年度別被害量(単位・千立方メートル)											
			四十五	四十六	四十七	四十八	四十九							
三〇一	八九	三九〇	四〇〇	一〇五	五〇五	六二五	一二三	七三八	九〇一	一四一	一、〇四二	九〇二	一〇七	一、〇〇九

前橋	東京	長野	名古屋	大阪	高知	熊本
〇	〇	一	〇	一四	三	六二
〇	〇	一	〇	四	四	六〇
〇	〇	一	〇	五	一〇	六二
〇	〇	一	〇	七	九	四四
〇	〇	一	〇	七	九	三六